

熊本乳児院 立ち入り調査

熊本市 身体的虐待 聴取



熊本市が立ち入り調査した熊本乳児院＝19日、同市中央区

熊本乳児院(熊本市中央区)の元職員3人が子どもたちへの身体的虐待が疑われる行為が繰り返されていたと熊本日日新聞に証言した問題で、市は19日、児童福祉法に基づき、同乳児院を立ち入り調査した。同乳児院を巡っては、「心理虐待」があったとして市は昨年3月に改善勧告。その後も「不適切な養育があった」という情報が寄せられ、昨年11月から断続的に立ち入り調査をしていたという。

熊本の取材に応じた乳児院日誌を確認したほか、職員院の元職員3人は、離職者から子どもの状況なども聞かされた10人前後の職員がいた。今回は、報道を受け、2016～21年度、泣いて身体的虐待の有無も聞き取れる子どもの口に粘着テープを貼ったという。

テープを貼ったり、子どもの頭を殴ると疑われる行為について、同課は「子どもの口に粘着テープを貼るなど把握していかない内容もあった。記事の内容がショッキングだったので、直ちに確認を始めた」と説明。「不適切な養育や施設の運営が

この日の調査は6時間に及び、市子ども政策課の職員2人が、保育日誌や業務

認められれば改善勧告や指導をする」と話した。立ち入り調査を受け、同乳児院の傘正治副院長は「昨年の改善勧告を受け、全ての事柄について見直し、職員一丸となって取り組んでいる。(今回の報道について)市が調査中でコメントできる立場ではない」と回答できなかった。

同乳児院は、社会福祉法人「熊本市社会福祉協会」が運営しており、定員30人。虐待や親の病気などで家族と離れて暮らす2歳ごろまでの乳幼児を養育している。職員数は昨年11月時点で約30人。(乳児院取材班)